

The Scars of the Vietnam War: 50 Years After the War

ベトナム戦争の傷痕——戦争終結から五〇年

村山康文写真展



「今でも事件を鮮明に覚えている」(フーイエン省、2018年)

2025.4.14 [MON] - 6.21 [SAT]

立命館大学国際平和ミュージアム 中野記念ホール

村山康文 (フォトジャーナリスト)

1968年生まれ。立命館大学在学中の1998年、報道写真家・石川文洋氏と出会い、一緒にベトナムへ渡る。ベトナム・韓国・アメリカなど各地で取材を重ね、ベトナム戦争が人びとに残した傷痕を見つめ続けてきた。これまでベトナムや韓国などで写真展を開催、作品はベトナム戦争証跡博物館でも常設展示されている。著作に、『いのちの絆——エイズ・ベトナム・少女ちゃん』(アットワークス、2008年)、『韓国軍はベトナムで何をしたか』(小学館、2022年)。

開館時間・料金

[開場時間] 9:30 ~ 16:30 (入場は16:00まで)

[休館日] 日曜日および祝日の翌日(日曜日が祝日の場合は開館、翌日が休館)

[参観料] 大人400円、中学生・高校生300円、小学生200円(常設展示入館料含む)

* 障害者手帳・被爆者健康手帳・戦傷病者手帳をお持ちの方(付添の方も1名含む)、立命館で学ぶ人・働く人は無料。JAF会員証提示の場合は、1枚で5名まで参観費より50円引き。

主催: 「ベトナム戦争終結50周年」写真展実行委員会
後援: 立命館大学国際平和ミュージアム、京都市、京都市教育委員会、京都新聞、KBS京都

 立命館大学国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

 立命館大学国際平和ミュージアム
開館50周年記念

「二度起こってしまった戦争は、いつまでも終わらない」。

War, Once Started, Never Ends.



2025年4月30日、ベトナム戦争の終結から50年の節目を迎えます——。

1964年8月、北ベトナム軍によるアメリカ駆逐艦への攻撃（後年アメリカ軍による捏造と判明したいわゆる「トンキン湾事件」）をきっかけに始まったベトナム戦争。戦争終結から半世紀たった今でも、ベトナム・アメリカ・韓国などベトナム戦争に関わった国々では、戦争の生々しい傷痕を抱えながら生きている人たちがいます。

本展では、1990年代からベトナム戦争の「戦後」取材し続けてきたフォトジャーナリスト・村山康文による写真約80点と立命館大学国際平和ミュージアム所蔵のベトナム戦争関連資料を展示し、ベトナム戦争を生きた人びとに刻まれた戦争の記憶を見つめ直します。

戦争という過ちを繰り返さないために何ができるのか。今回の写真展が21世紀の平和をかたちづくるための私たちの想像力となることを願います。



[写真] 上段左：「彼女の涙がすべてを物語る」（クアンガイ省、2008年）、上段中：「美しい笑顔」（ホーチミン市、2000年）、上段右：「シン・チャオ（こんごは）」（ホーチミン市、2001年）、下段左：「当時の米国はさらなる巨大な戦争へと突入していくと感じた」（ワシントンD.C.、2015年）、下段中：「ベトナム戦争は終わっていない」（クワル特別市、2014年）、下段右：「主人はベトナム人の手によって殺された」（フエ市、2011年）

関連企画

■村山康文氏ギャラリートーク

4/19（土）14:00- 展示会場（中野記念ホール）
5/24（土）14:00- 展示会場（中野記念ホール）

■石川文洋氏（報道写真家）特別トーク企画

「ベトナム戦争終結から50年を迎えて（仮）」
6/14（土）14:00-

※企画の詳細な情報は、後日HPにてご案内いたします。

※写真展実行委員会では、展示に関するクラウドファンディングを行っています（4月30日まで）。詳しくは右のQRコードよりご確認ください。本展へのご協力をお願いいたします。



ベトナムを取材中の村山康文氏



アクセス



- 京都駅（JR・近鉄）より
市バス 50・快速立命館・JRバス：「立命館大学前」
市バス 205：「わら天神前」下車、徒歩10分
- 西院駅（阪急電車）より
市バス 205：「わら天神前」下車、徒歩10分
市バス 快速立命館：「立命館大学前」下車

立命館大学国際平和ミュージアム

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
HP <https://rwp-museum.jp/>
TEL 075-465-8151
FAX 075-465-7899

お問い合わせ

- 「ベトナム戦争終結50周年」写真展実行委員会
MAIL yasumu43@hotmail.com